

## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東  
 コード番号 7363 URL <https://corp.baby-calendar.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安田 啓司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高桑 忠久 TEL 03-6631-3600  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	724	9.1	70	△24.3	57	△38.3	35	△38.7
2020年12月期第3四半期	663	—	93	—	93	—	58	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	42.44	37.75
2020年12月期第3四半期	78.29	—

- （注）1. 当社は、2019年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、2020年11月13日開催の取締役会決議により、2020年12月4日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、2021年3月25日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年12月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	985	830	84.3
2020年12月期	502	345	68.8

（参考）自己資本 2021年12月期第3四半期 830百万円 2020年12月期 345百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,074	20.2	197	106.6	155	61.3	101	63.8	119.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	904,700株	2020年12月期	743,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	839,920株	2020年12月期3Q	743,000株

(注) 当社は、2020年11月13日開催の取締役会決議により、2020年12月4日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染が再び拡大し、その収束に見通しが立たず、景気の先行きは、依然として不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社におきましては、メディア事業を中心に売上高は前年同期比9.1%の成長となりましたが、一部第4四半期への期ズレが発生し、やや計画を下回っております。

また、2021年6月末に当社「ベビーカレンダー」サイトの閲覧数が2億PVを超過した以降、そのPV数を堅持し、事業の成長に寄与しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は724,057千円（前年同四半期比9.1%増）、売上総利益478,097千円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は70,572千円（前年同四半期比24.3%減）、経常利益は57,735千円（前年同四半期比38.3%減）四半期純利益は35,649千円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (メディア事業)

メディア事業におきましては、「妊娠・出産・育児」領域の専門サイトである自社サイト「ベビーカレンダー」のPV数増加及びタイアップ広告の受注が引き続き好調に推移したこと等により、売上高は510,037千円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益は195,615千円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

#### (産婦人科向け事業)

産婦人科向け事業におきましては、主力商品の「ベビーパッド」のリース契約更新時期が第4四半期に偏っていることから、前年同期比で減少いたしました。

この結果、売上高は127,395千円（前年同四半期比24.2%減）、セグメント利益は220千円（前年同四半期比99.4%減）となりました。

#### (Webマーケティング事業)

Webマーケティング事業におきましては、既存顧客へのアドオン受注の獲得に重点を置いた施策に注力したことにより、前年同期比プラスの成長となりました。

この結果、売上高は86,624千円（前年同四半期比40.7%増）、セグメント利益は2,622千円（前年同四半期比92.0%増）となりました。

### (2) 財政状態の状況

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて500,244千円増加し、882,277千円となりました。これは、主に上場に伴う増資により、現金及び預金が472,174千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて16,423千円減少し、103,574千円となりました。これは、主に減価償却による減少であります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて483,821千円増加し、985,851千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8,308千円増加し、141,760千円となりました。これは、主に買掛金が4,076千円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて9,218千円減少し、13,477千円となりました。これは、主に長期借入金8,340千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて909千円減少し、155,237千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて484,730千円増加し、830,613千円となりました。これは、主に上場に伴う増資により、資本金が224,540千円、資本剰余金が224,540千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年3月25日公表「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。なお、2021年12月期における新型コロナウイルスの当社業績への影響はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	237,395	709,569
売掛金	103,726	117,094
原材料及び貯蔵品	25,786	32,972
その他	15,660	23,204
貸倒引当金	△536	△563
流動資産合計	382,032	882,277
固定資産		
有形固定資産	12,383	11,826
無形固定資産	89,249	71,752
投資その他の資産		
その他	18,816	20,446
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	18,365	19,995
固定資産合計	119,998	103,574
資産合計	502,030	985,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,724	27,800
1年内返済予定の長期借入金	11,390	10,008
未払法人税等	1,037	28,548
その他	97,299	75,403
流動負債合計	133,451	141,760
固定負債		
長期借入金	13,320	4,980
資産除去債務	6,902	6,968
その他	2,473	1,528
固定負債合計	22,695	13,477
負債合計	156,147	155,237
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	56,790	281,330
資本剰余金	187,385	411,926
利益剰余金	101,707	137,357
株主資本合計	345,883	830,613
純資産合計	345,883	830,613
負債純資産合計	502,030	985,851

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	663,456	724,057
売上原価	217,734	245,959
売上総利益	445,721	478,097
販売費及び一般管理費	352,457	407,524
営業利益	93,263	70,572
営業外収益		
受取利息	91	3
貸倒引当金戻入額	405	—
その他	445	95
営業外収益合計	942	99
営業外費用		
支払利息	155	81
支払手数料	286	1,048
株式公開費用	—	11,792
その他	160	14
営業外費用合計	602	12,937
経常利益	93,603	57,735
税引前四半期純利益	93,603	57,735
法人税、住民税及び事業税	1,489	23,863
法人税等調整額	33,938	△1,778
法人税等合計	35,427	22,085
四半期純利益	58,176	35,649

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月25日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年3月24日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）により新株式85,000株を発行しております。当該増資により資本金及び資本剰余金はそれぞれ164,220千円増加しました。

また、2021年4月21日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により新株式24,700株を発行しております。当該増資により資本金及び資本剰余金はそれぞれ47,720千円増加しました。

さらに、当第3四半期累計期間において新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ12,600千円増加しております。

上記の結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が281,330千円、資本剰余金が411,926千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メディア事業	産婦人科向け事業	Webマーケティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	433,662	168,231	61,562	663,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	433,662	168,231	61,562	663,456
セグメント利益	165,609	41,886	1,365	208,862

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	208,862
のれん償却額	△8,555
全社費用(注)	△107,042
四半期損益計算書の営業利益	93,263

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	メディア事業	産婦人科向け事業	Webマーケティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	510,037	127,395	86,624	724,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	510,037	127,395	86,624	724,057
セグメント利益	195,615	220	2,622	198,458



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	198,458
のれん償却額	△8,832
全社費用（注）	△119,053
四半期損益計算書の営業利益	70,572

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。